

統一化帳票の取得自動化に関する 実装案について

平成30年11月
電力広域的運営推進機関
総務部情報システムG

統一化帳票における過去の議論経緯としては以下の通りであった。

- 現行確定使用量等のXML方式で統一化帳票のBP化を行うべく、小売電気事業者側の二重確認及び一般送配電事業者での実装可否と概算コストに関するヒアリングを実施
- BP化については小売電気事業者でのメリット／デメリットに差異があり、また一般送配電事業者においてもコスト等における差異が大きく実装の利点は少ないことが判明
- そこで事務局としてはBP化ではなく自動化を行う新方式案での実現性を再検討とした。

<新方式（案）>

統一化帳票は現行CSV形式のままで提供するが、現在の手動取込に加え、BPにおける自動取込の仕組みに統一化帳票のCSVファイルを新たに追加する。
なお、一般送配電側での対応コストや効率化等も考慮し、基本的に現在の提供内容と同等の対応としたい。（実装時期は検討中）

その後、新方式案に関する小売電気事業者からの要望、一般送配電事業者側での実現性・コストを改めてヒアリングした内容を踏まえ、自動化における事務局実装案を次ページ以降で説明する。

なお、帳票の公開先URL（BPと同一URL or 別URL）については、一般送配電事業者側で対応コスト差が小さく、一般送配電事業者側で想定する小売電気事業者の利便性等でも意見が分かれるため、改めて小売電気事業者側の希望を確認することとしたい。

■統一化帳票取得自動化実装方式（案）

1. 自動化対象帳票

契約電力算定結果内訳、発電者の仕訳後の電力量のお知らせ、制限中止割引時間の3帳票とする。

2. 帳票ファイル仕様

1) ファイル形式は現在と同じCSV形式での提供とする。

2) データについては「標準化帳票仕様」に記載の通りかつ現フォーマットにて出力する。

3) 但し、ファイル名については下記の命名ルール（案）で統一を検討とする。

※名前が長いとご指摘も頂いており、短縮案があれば受け付けたい。（kWは削除、“制限中止割引時間” → “制割“等）

◆契約電力算定結果内訳（作成は～.csvでzip圧縮して公開）

AAAAZ_高圧実量制の契約電力算定結果内訳(kW)_YYYYMMDD_yyyymm_NNNN_BBBBBB_RR.zip

AAAAZ_低圧実量制の契約電力算定結果内訳(kW)_YYYYMMDD_yyyymm_NNNN_BBBBBB_RR.zip

◆発電者の仕訳後の電力量のお知らせ（作成は～.csvでzip圧縮して公開）

AAAAZ_特高・高圧発電者の仕訳後の電力量のお知らせ_YYYYMMDD_yyyymmdd1_yyyymmdd2_RR_CC.zip

AAAAZ_低圧発電者の仕訳後の電力量のお知らせ_YYYYMMDD_yyyymmdd1_yyyymmdd2_RR_CC.zip

◆制限中止割引時間（作成は～.csvでzip圧縮して公開）

AAAAZ_特高制限中止割引時間_YYYYMMDD_yyyymm_NNNN_BBBBBB_RR.zip

AAAAZ_高圧制限中止割引時間_YYYYMMDD_yyyymm_NNNN_BBBBBB_RR.zip

AAAAZ_低圧制限中止割引時間_YYYYMMDD_yyyymm_NNNN_BBBBBB_RR.zip

【凡例】

AAAA：事業者コード

※エリアコード除く

Z:エリアコード下1桁

※沖縄は0

YYYYMMDD：検針日or確定年月日

yyymm：調定年月

NNNN：小売／自己／離島／離島自己等

※区分けなしの場合”その他”

BBBBB：BGコード

※但し”00000”固定を許容とする

RR：リビジョン（01～）

CC：分割番号（01～）

※分割なしは01固定

yyymmdd1：対象期間（自）

※ファイルヘッダの対象期間（自）と同じ

yyymmdd2：対象期間（至）

※ファイルヘッダの対象期間（至）と同じ

3. 帳票提供のタイミングと単位 ※各エリアの現行運用を踏襲

1) 提供タイミングについては、確定使用量提供のタイミング以降※とする。

※エリアによっては確定使用量と同時期の提供も予想されるが、以降にずれ込むエリアについては運用事例集で補記する。

2) 提供単位（全量or全量+差分等）については、一般送配電各社での個別判断に従い提供する。

※提供単位を統一した場合、一般送配電事業者各社では業務上、システム上共に大きな影響が発生するため
但し、運用事例集では各社の提供単位を明記する。

4. 帳票取得方法等

1) 一般送配電事業者の託送関連データ提供システムへの認証は、BP同様クライアント証明書経由で行う。

2) 帳票公開URLについてはP2で述べた通り、BPと同一URLとするか別URLとするかは小売事業者側の希望を反映といたく、本会議中もしくは後日事務局までご連絡いただきたい。

3) 帳票取得時のインターフェースについては、現在の30分電力量提供および確定使用量通知のBPにおける実装ガイド記載に準じた方式※とする。

※次ページに実装ガイドの記載の一部を抜粋する。

なお、SSL通信の暗号化スイート、リクエスト先URL（ファイル一覧画面、取得ファイル）の各社ドメイン部分以降等、実装に係る細部までの規定や統一化は行わないものとする。

5. 自動化の実装時期ほか

1) 法的分離向け対応や、今後の制度に係る対応の可能性も想定すると、現時点で時期を確定することは困難であるが、法的分離対応が一段落した以降早い時期で3帳票同時に実装する方向としたい。時期が明確になれば本実務者会議にて改めてご報告する。

2) 本対応は、計画値同時同量の帳票を対象とする。

※実需同時同量の帳票は現行通り

(参考) 現行実装ガイド関連箇所抜粋 (一部)

3.3.2. 自動取込方式

自動取込方式における手順、期待動作を定義する。

3.3.2.1. 手順図

自動取込方式の手順を図3-3に示す。

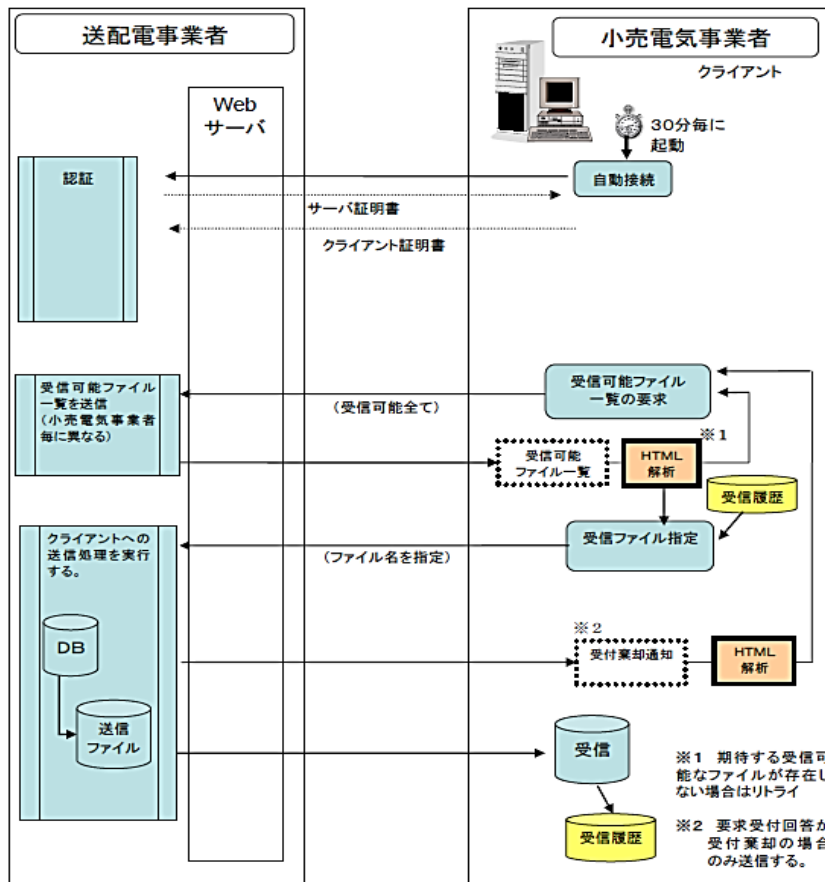


図3-3 自動取込方式手順

3.3.2.2. 期待動作

自動取込方式におけるクライアント機能とサーバ機能の期待動作を表3-6に示す。

表3-6 自動取込方式の動作

No.	手 順	動作担当		クライアント	サーバ	備 考
		クライアント	サーバ			
1	受信可能ファイル一覧の要求	○		受信可能ファイル一覧画面を要求		
2	サーバ電子証明書送信		○		サーバ電子証明書を送信	
3	サーバ電子証明書確認	○		サーバ電子証明書を受信・確認		
4	クライアント電子証明書の要求		○		クライアント電子証明書を要求	
5	クライアント電子証明書の送信	○		最新のクライアント電子証明書を送信		
6	受信可能ファイル一覧の要求	○		受信可能ファイル一覧を要求		
7	受信可能ファイル一覧作成		○		送信可能なファイルの一覧を作成	
8	受信可能一覧画面の送信		○		送信可能なファイル一覧を送信	受信可能一覧画面を編集する。
9	受信ファイル指定	○		受信履歴より受信対象ファイルを設定・指定		
10	受付棄却通知		○		受付棄却通知画面を送信	クライアントからの要求ファイルが存在しない場合、受付棄却通知画面を編集する。
11	受付棄却確認	○		受付棄却通知画面を受信		No.6「受信可能ファイル一覧の要求」に戻る。
12	受信処理実行	○	○	受信処理を開始	送信処理を開始	
13	受信履歴出力		○	受信完了後、受信履歴に受信ファイル情報を出力		

3.3.3. HTML画面

3.3.3.1. 画面一覧

本ガイドで想定する画面の一覧を表3-7に示す。なお、画面タイトル(<title>にセットする名称)は“30分電力量提供および確定使用量通知”とする。

表3-7 画面一覧

画面名	説 明	画面識別子
受信可能ファイル一覧画面	受信可能なファイルの一覧を表示する画面	r01
受付棄却通知画面	クライアントからの受信要求結果が受付棄却であることを通知する画面	r02